

果樹病虫害予察調査結果（6 / 9 調査分）
（三条・加茂・田上地域）

6月9日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共 通）

- 今後、梅雨入りし降雨が続くと、病害の多発生が懸念されます。降雨前防除を励行し、薬剤は散布ムラがないよう丁寧に散布しましょう。
- ナシヒメシンクイの誘殺数が多くなっています。有効積算温度による予測では、**第1世代成虫の発生盛期は6月17日頃、第2世代幼虫の防除時期は6月24～26日頃**と予測されます。
- 今回調査ではハダニ類の発生は確認されませんでした。今後高温乾燥傾向が続く場合、注意が必要です。特に主幹近くの葉裏を丁寧に観察しましょう。
- フジコナカイガラムシの防除時期は**6月5半旬～7月1半旬**と予測されます。各園地のふ化状況を確認し、適期防除に努めましょう。

（ナ シ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- 花腐れ細菌病の発生が確認されている地点があります。り病枝は切除し、園外で処分しましょう。
- 一部で、黒星病の発生が確認されています。り病葉・り病果を発見したら摘み取り園外で処分しましょう。また、園内の過湿を防ぎ、通風をよくすることも大切ですので、新梢管理や排水改善にも努めましょう。
- 一部で、セイヨウナシ褐色斑点病の発生が確認されています。り病葉・り病果を発見したら摘み取り園外で処分するとともに、果実被害を予防するために**早期の袋かけ**をお願いします。
- ワタアブラムシの寄生が、一部の新梢先端部で確認されています。寄生部位は摘み取り園外で処分するとともに、薬剤防除を行う場

合は薬剤抵抗性の発達に注意し、同系統の薬剤を連用しないよう注意してください。

(モ モ)

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- **せん孔細菌病**は、全ての地点で新梢葉での発病が確認され、果実発病も一部で確認されています。り病した枝・葉・果実は切除し、園外で処分するとともに、**袋かけや新梢管理も早期**に行いましょう。
- 一部で、**灰星病**り病果が確認されています。せん孔細菌病同様、り病果の除去や早期の袋かけで多発生を防ぎましょう。
- 一部で、**ナシヒメシクイ**による新梢先端部の心折れが確認されています。果実への食害を防ぐため、適期防除に努めましょう。

(ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房、5a内でのつるを調査しました。

- 一部で、**灰色かび病**発病葉が確認されています。過湿状態で発生しやすいため、通風が悪くならないよう新梢管理等に留意しましょう。
- 今回調査で果実被害は確認されませんでした。降雨や暑さによる病害虫の多発生が懸念されますので、できるだけ早期の**傘かけや袋かけ**をお願いします。

◇ 次回調査は6月23日(金)です。

担当 : 中越支所 果樹共済係
TEL : 0258-36-8105
FAX : 0258-34-8020